

食料の未来を考えるきっかけに

松本市庄内公民館で 5月末までミニパネル展

松本市の庄内公民館では、地元の食生活改善グループを中心として、さまざまな学習講座が開かれてきました。

正しい食生活は、毎日を健康に過ごすための基本です。

しかし、日本の食料自給率が向上していないなどの報道を見るにつれ、食料問題そのものにも関心を寄せるようになりました。

このほど食料の未来を考える“きっかけ”として、長野農政事務所が協力してミニパネル展を展示しました。



<主な展示内容>

「食料の未来を確かなものにするために」から

- ・ 食料事情は世界的に深刻
供給力が弱く自給率が4割しかない日本
- ・ 食生活の変化(乱れ)が招く様々な問題
食料自給率の低下、メタボ、食品残さなど

公民館には、温水プールや体育館が併設されています。多くの利用者が休息をとるために、ロビーへ足を運びます。



公民館では、学習講座の要望などをアンケートで募っています。食料問題を取り上げた講座を、とのご要望があれば農政事務所の職員がお伺いいたします。

長野農政事務所地域第一課